



やっと見つけては 別のものを見失い、行った
 来たり、オロオロウロウロしつつ こんな知に
 になっていることに戸惑い がくりしつつ、それでも
 自分の頭をなでて「おまえを生きていくから
 ね」と言おうとした時、もう一つの別な声
 が重なってひびいてきた。慰めなどではない、
 いのちの意志「法蔵菩薩の声だ!」と聞きと
 れたとたん 涙があふれてきた。

この頃 知の心は二つに分かれ、しくじる自分
 とその相手になりながらなだめたり 励まし
 たりする自分とが いるのである。その二つに分か
 れた知の 心と底から湧き上がってきた「お前
 を生きていく!」と 言ってくれた声に 一瞬
 身も心も熱くなった。

「生きよ! 生きよ!」「生まんかな 生まんかな」

共鳴現象 というのはどうやら、不思議な体験
 であった。南無阿彌陀仏

我ならぬ 声と 聞きつつ 生まんかな

○ご遠慮お誘い合わせ聞法会 5月11日PM1.30

「心理から真理へ」

白々海 真(ごごみ しん)先生

新緑まぶしい五月 聴聞に歩いて下さい。